

第3回 <ケア>を考える会・岡山



「<ケア>を考える会-岡山」第3回を開催します。
参加者それぞれが、本を読んで心に残った部分を紹介して、なぜその部分を選んだのか発表します。読んでこれなかった人は読んできた人の発表を聞いてその感想を述べます。——こんなふうには進んでいきます。専門も、職種も、年齢も、立場も、考えも、それぞれ異なる人たちが集まり、時と場を共にします。
わくわくしてきます。
どなたでも参加できます。気軽にご参加ください。

■日時：**2013年12月8日(日) 14:00~16:00**

■会場：川崎医療福祉大学 本館 6階 6001 演習室 (定員 35名)

<http://www.kawasaki-m.ac.jp/mw/access/index.php>

※建物の1階(防災センター)から備え付けのスリッパに履き替えてお上がり下さい。

エレベーターで6階へ行きますと、降りた正面に案内標識があります。

駐車場を利用の場合は、福祉大学の職員・学生駐車場(病院とは道をはさんで反対側)をご利用ください。1時間100円です。

■会費：無料

■内容：次の本を読んで、思うこと・考えること、また、そこから連想・想起・発想する諸々について、語り合います。

清水哲郎『最期まで自分らしく生きるために』(NHK出版)

第四回 倫理という現象 ——群れで生きる人間(一) (45ページより)

第五回 群れ意識の光と陰 ——群れで生きる人間(二) (65ページまで)

※この本は、2012年7~9月NHKラジオ「こころをよむ」シリーズで放送されたもののテキストです。

■懇親会……終了後に、会場近くの居酒屋で懇親会(忘年会)を開きます(希望者)

■呼びかけ人

大賀由花(赤磐医師会病院/透析療法指導看護師)

河合清志(社会福祉士)、

小林真美

清水昭雄(管理栄養士)

田中順子(川崎医療福祉大学リハビリテーション学科/作業療法士)

林道也(社会福祉士)

平松邦夫(社会福祉士)

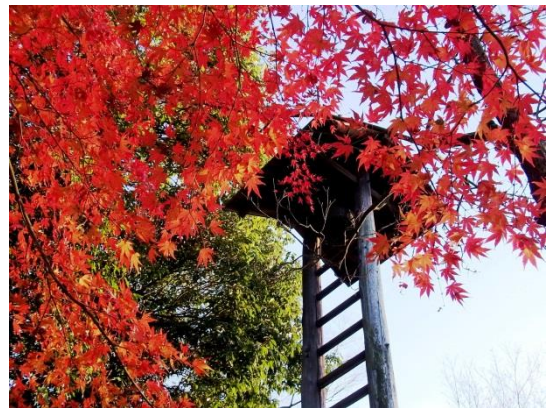
松川絵里(カフェフィロ副代表/大阪大学CSCD 特任研究員)

山本広美(社会福祉士)

■参加申し込み・問い合わせ

884michiya@gmail.com 090-5366-1497(林)

※ ホームページもご覧ください ⇒ <http://okayama-care.jimdo.com/>



会の趣旨

▼岡山(倉敷)で、<ケア>について学び考える会を開催します。

<ケア>といえば、「看護」「介護」「支援」「世話」などが先ず頭に浮かびます。超高齢社会を生きる私たちにとって、切実な課題の一つです。

そして、<ケア>は、もっと広く捉えることもできます。たとえば広井良典氏は、ケアを「人と人との間の『関係性』という意味に理解してみたい」と述べ、さらに、個人がコミュニティや自然などとつながっていくような方向でもケアを考えます。「『ケアの哲学』とでもいうようなものが必要」とも言っています。

また、鷲田清一氏は「臨床哲学」の重要テーマの一つに「ケア論」を置き、「ケア」の奥深さをさまざまに説いています。

この会では<ケア>について、身近なところから理念的なものまで、そして、狭い意味から広い意味まで、幅広く深く考えていきます。

▼この会の参加者は、医療・看護・介護・福祉・教育などの現場、または地域や家庭などで<ケア>に関わっている方、大学や学校で<ケア>の教育・研究に携わる方や学んでいる方、さらに、その他、<ケア>に関心や関係のある方などです。

<ケア>に関わる人たちが学び交流することで、明日からの力を得る<場>となることを願います。

▼会では、本を読んだり、または、人の話を聞いたりして、語りあいます。

そして、会の後には、会場近くの居酒屋で懇親会を開きます(希望者)。

学び、語り合い、そして、食べ、飲み、さらに、語り合う。

この会は参加者の「つながり」を大切にします。